

平成29年度事務事業評価シート(28年度実績)

◎基本情報

事務事業名	地域支援事業(包括的支援事業及び任意事業)		担当部署	健康福祉部 長寿介護課	
総合計画体系			根拠法令計画など	介護保険法	
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがいを感じるまちづくり	事業期間	開始	平成 18年度
政策(中項目)	1	ひとにやさしく健康で安らげるまち なんと			終期
(小項目)		社会保障			
施策	10	介護保険制度の円滑な実施			
基本事業	5	包括的支援事業及び任意事業の推進			

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理 本市の介護保険の第1号被保険者及び介護サービス提供事業者 地域の支え合い体制及び拠点整備の担い手や生活支援サービス提供事業者														
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	地域型地域包括支援センターを拠点として、高齢者が住みなれた地域において、自立した生活を送ることができるよう支援を行うとともに、介護給付費等の適正化の事業実施等により地域包括ケアシステムの構築を図る。														
事業計画	28年度に何を計画していたか	「第6期鳴門市高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画」により事業を推進するとともに、「生活支援体制整備事業」、「ケアプラン評価事業」などを推進していく。														
成果目標	事業目標の達成度合	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>31年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総合相談件数 (市の総合相談窓口+地域包括支援センター)</td> <td>1,600</td> <td>2,300</td> <td>2,350</td> <td>2,400</td> <td>2,450</td> <td>件</td> </tr> </tbody> </table>	指標名	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位	総合相談件数 (市の総合相談窓口+地域包括支援センター)	1,600	2,300	2,350	2,400	2,450	件
指標名	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位										
総合相談件数 (市の総合相談窓口+地域包括支援センター)	1,600	2,300	2,350	2,400	2,450	件										

◎実施結果(DO)

事業実施内容	28年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	地域における生活支援体制構築を図るため、情報収集・関係者の連携を図り、検討を進めるための協議会の設置準備を進めるとともに、不適正な介護報酬算定が起こりやすい事項について、重点的に改善指導の取組みを進めた。						
事業実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 市実施 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他							
指標名			27年度実績	28年度実績	29年度目標	30年度目標	31年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	ケアプラン・権利擁護等研修会の開催	8	8	8	8	8	回
	2	成年後見制度相談窓口開催	12	12	12	12	12	回
成果指標 対象にどのような効果があったかを示す指標	総合相談件数 (市の総合相談窓口+地域包括支援センター)		2,214	2,022	—	—	—	件
	目標達成率(実績/目標)			87.9	—	—	—	%
今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況		計画どおり			

(千円)

財源内訳	年度	区分	国	県	地方債	その他特定財源	一般財源	事業費計	
			当初予算額	31,674	15,836	0	0	33,705	81,215
			補正予算額	△ 34	△ 17	0	0	△ 37	△ 88
			繰越予算額	0	0	0	0	0	0
			全体予算額	31,640	15,819	0	0	33,668	81,127
			決算額	31,672	14,901	0	0	29,843	76,416
			繰越額	0	0	0	0	0	0
	人件費	正規職員(7,133千円/人)	臨時職員(2,043千円/人)	総人件費		総事業費			
		0.0	0.0	0	76,416				

【鳴門市行政評価】

【事務事業名：地域支援事業(包括的支援事業及び任意事業)】

事業費推移	年度	27年度決算	28年度決算	29年度	30年度	31年度
	事業費	74,455	76,416	83,965	83,965	83,965
	うち一般財源	14,519	29,843	16,374	16,374	16,374
	人件費	6,859	0	0	0	0
	総事業費	81,314	76,416	83,965	83,965	83,965

◎項目別評価(CHECK)

評価項目		評価値		所見欄
①活動に対する評価	有効性	B:概ね有効性があった		生活支援体制整備、在宅医療介護連携、給付費適正化等について推進に努めているが、なお成果向上の余地がある。
	効率性	B:概ね効率的だった		さわやか福祉財団等関連団体や地域包括支援センター等と連携を取りながら、概ね効率よく事業を推進できている。
②成果に対する評価	指標名	総合相談件数(市の総合相談窓口+地域包括支援センター)		総合相談件数に関しては、目標件数がやや下回ったが、一昨年の件数(1,919件)は上回っている。
	目標	2,300	件	
	実績	2,022	件	
	評価	B:概ね目標を達成できた		
③総合的な評価		B		基幹型地域包括を中心に、総合相談や権利擁護、生活支援の体制整備等徐々に拡充できている。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	生活支援体制の整備に関しては、さわやか福祉財団やその他関係機関とリンクしつつ、市民や既存のフォーマル・インフォーマルサービス提供事業所の意見を取り入れながら本市の実情に沿った制度設計を行う必要がある。 また、医療介護連携等、多くの関係団体を要する事業に関しては、今後精査しながら慎重に進めていく必要がある。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	4
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	H29年度	高齢者をはじめとした市民が安心して利用できるサービス等の創出のために、生活支援体制整備事業における協議体の設置、またはその場から吸い上げられた課題などを分析していく。また地域包括ケアシステムの拡充を目指し、総合相談等でニーズや実情を把握しながら積極的に事業展開を行う。			
	H30年度	第7期高齢者保健福祉及び介護保険事業計画に沿って生活支援体制整備、在宅医療介護連携、及び介護予防日常生活支援総合事業等を推進しながら、包括ケアシステムの構築を図っていく。			